



草津川跡地利用



基本構想

2011.5



目 次

第1章 草津川跡地を取り巻く現況	1
1-1 草津川跡地の概要	2
1-2 旧草津川の歴史	4
江戸時代	4
明治・大正時代	4
昭和・平成	4
1-3 人口・世帯数の状況	5
1) 草津市全域の人口・世帯数の推移	5
2) 草津川跡地沿いの人口・世帯数の推移	5
1-4 交通施設の状況	6
1-5 市街化の状況	6
1) 都市計画公園	6
2) 避難所	7
3) 用途指定	7
4) 指定文化財等	7
1-6 自然環境・景観の状況	9

第2章 構想の位置づけ	10
2-1 これまでの経緯	11
河川改修の経緯	11
草津川跡地の利用計画策定の検討経緯	11
暫定利用に関する経緯	12
2-2 上位・関連計画との関係	13
草津川廃川敷地整備基本計画	13
第5次草津市総合計画	14
草津市都市計画マスターplan	16
第2次草津市緑の基本計画	17
草津市地域防災計画	17

目 次

第3章 草津川跡地利用の基本条件	18	第4章 草津川跡地利用基本構想	47
3-1 土地所有区分	19	4-1 草津川跡地利用基本構想の趣旨	48
1) 土地所有区分	19	1) 4つの基本機能	48
2) 暫定利用	21	2) 草津川跡地の整備のねらい	49
3-2 現況特性の整理と課題	24	階層的な効果を発揮する仕組みづくり	49
1) 現況特性の整理	24	現状の資源・特性の総合的な活用と効果	51
2) 区間毎の特性と課題	25	多分野の施策への展開と効果	52
区間①（湖岸道路～メロン街道）	25	3) 3つのゾーンと6つの区間	53
区間②（メロン街道～浜街道）	28	Aゾーン（にぎわいのある歴史的な空間）	53
区間③（浜街道～大津湖南幹線）	31	Bゾーン（市民に身近な生活空間）	53
区間④（大津湖南幹線～JR琵琶湖線）	34	Cゾーン（潤いある自然を生かした空間）	53
区間⑤（JR琵琶湖線～国道1号）	37	4) 各ゾーンを縦断する機能	54
区間⑥（国道1号～JR東海道新幹線）	40	琵琶湖と市街地を結ぶ緑軸	54
3-3 市民ニーズの把握	43	防災機能の強化	54
1) 調査の概要	43	交通機能の強化	55
2) アンケート結果にみる市民意識	44	4-3 草津川跡地利用基本構想	58
現在の草津川跡地の利用目的	44	1) 区間①（湖岸道路～メロン街道）	58
草津川跡地の堤防に関する意識	44	2) 区間②（メロン街道～浜街道）	61
今後の草津川跡地整備のあり方について	45	3) 区間③（浜街道～大津湖南幹線）	64
3-4 社会的ニーズの把握	46	4) 区間④（大津湖南幹線～JR琵琶湖線）	67
余暇活動参加率	46	5) 区間⑤（JR琵琶湖線～国道1号）	70
余暇に求める楽しみ・目的の変化	46	6) 区間⑥（国道1号～JR東海道新幹線）	73

第5章 構想の実現に向けて	76
5-1 計画的な事業推進	77
5-2 継続的な検討の実施	78
事業の推進手法の検討	78
市民との協働や参画	78
民間活力の活用	79
国やJR西日本との調整	79
堤外民有地との調整など	79
事業の財源確保	79
5-3 実現に向けての留意事項	80
1) 防災施設の導入検討	80
草津川河川防災ステーションとの連携	80
2) 観光・交流拠点としての導入施設の検討	81
魅力向上のための施設の導入検討	81
中心市街地における にぎわいなどの創出の検討	81
交通ネットワーク強化の ための施設の導入検討	81
3) 環境との共生に向けた導入施設の検討	82
守る緑と創出する緑	82
環境との共生をリードする場	82
人と自然とのふれあいの場	83
農の緑としての活用	83
4) 堤体の構造的な保全の検討	84
堤体保全のプラス面とマイナス面	84
堤体保全の検討	84
法面の処理方法	84
5) 周辺関連施設の整備	85
草津川跡地への アクセス路などの道路整備の検討	85
周辺施設との一体整備の推進	85
草津川跡地と連携した回遊性の創出	85
6) コスト縮減の検討	86
暫定活用との整合	86
運土収支計画	86
民間資本の活用	86

7) 地域コミュニティの醸成 ^{じょうせい}	86
市民の交流や地域コミュニティの醸成	86
8) 栗東市との調整	86

参考資料	88
用語解説	90
掲載写真出典一覧	98

